

平成26年度 学校評価

学校運営委員会

学校教育目標

1. 真理と学問を愛し、豊かな知性に基づいて正義と道徳とを重んずる精神を育成する。
2. 清純高潔な品性と豊かな趣味とを育成する。
3. 自分を理解し愛するとともに、自然及び他人に対する深い理解と愛情とを養う。
4. 勤労の価値を自覚し、積極的に活動する人間育成に努める。
5. 健康な身体と明朗で寛容な態度を養い、何事にも全力を尽くせる人間形成に努める。

中・長期的目標

1. 基礎学力の定着を重視し、多様な進路希望の実現を目指す。
2. 基本的な生活習慣を確立し、社会の一員としての自覚をもたせる。
3. 特別活動を通して、心身の調和を目指す。
4. 保護者・地域に開かれた学校作りを進める。

本年度の重点目標

1. 授業の充実と学習習慣の確立。
2. 身だしなみ指導、規範意識の向上といじめ防止等人権意識の向上。
3. クラブ・生徒会活動の充実。
4. 広報活動の充実。

評価項目	評価の観点
1-1 日々の授業の充実	a 授業開始時刻と終了時刻を厳守できたか。 b 授業アンケート等をもとに、生徒の学習意欲を喚起するべく授業改善に努めたか。
1-2 学習習慣の確立と学習方法の習熟	a 週末課題を活用し、生徒の自主的な学習を促すことができたか。 b 補習など考査前の学習時間を保障し、学習環境を整えることができたか。
1-3 総合的な学習の時間を通じてのキャリア教育の充実	a 個々の進路意識を高める内容で実施することができたか。(1年) b 進路希望別のガイダンスを実施し、進路先への興味・関心を深めることができたか。(2年) c 一人一人の社会的・職業的自立に向けて、表現力や文章力など個々の生徒に応じた力を伸ばすことができたか。(3年) d 就業体験活動への参加を促すことができたか。
1-4 多様な生徒への対応	a 教育課程や学習指導体制、教材選択など様々な角度から、より良い教育のあり方を模索することができたか。 b 多様な進路選択に対応するための手立てを講じたか。
2-1 生徒の規範意識の向上	a 人権意識の向上やいじめ等のトラブル防止のために啓発できたか。また、諸問題を早期発見するために、面接週間を活用するなど日常的に生徒理解に努めることができたか。 b 交通安全や交通マナー向上の意識を啓発できたか。 c 携帯・スマホの授業中の扱いについて適切に指導できたか。
2-2 身だしなみの改善	a 本年度身だしなみの重点項目(サンダル、ピアス、等)を中心に、身だしなみについて日常的に指導できたか。
2-3 清掃の徹底と、環境・衛生面の向上	a 清掃の徹底を図り、美化に努めることができたか。 b 校内環境に気を配り、改善できたか。
3-1 クラブ活動の充実	a クラブへの加入を積極的に促すことができたか。 b クラブ活動の充実に努めることができたか。 c 部室、使用施設の適正な使用を促せたか。
3-2 生徒会活動の充実	a 日常の委員会活動や対外的な活動、ボランティア活動等を通して、生徒会活動の充実をはかることができたか。
4-1 広報活動の充実	a 学校・学年・クラス等、それぞれの立場から地域や保護者への情報発信ができたか。